

令和3年度

消防本部の方針書

| | |
|-----|------|
| 部名 | 消防本部 |
| 部長名 | 菅谷和明 |

1. 部の使命(ありたい姿)

持てる知識、技術及び資機材を最大限に活用し、市民の負託にこたえる

| | |
|------|---|
| 担当政策 | 政策3: 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます |
| 担当施策 | 3-3: 災害に強いまちづくりの推進 |

2. 部の抱える課題(現状)

- 1、人材育成
- 2、組織体制強化と消防団との連携
- 3、人口減少に対する対応

3. 今年度の『スローガン』

「ONE TEAM」 ～ ふるさとを護る ～

4. 今年度の方針

- 1、消防力向上のための人材育成
- 2、安全管理体制の強化
- 3、災害に強いまちづくり(安心して暮らせるまち)

5. 今年度の重点取組項目

| | | |
|-----|---------|--|
| (1) | 実現したい成果 | 消防力向上のための人材育成 |
| | 取組内容 | 1、職員からの様々な提案の具現化 2、消防職員としての自覚と法令遵守(ハラスメント等不祥事防止) 3、何事にも積極的に取り組む職員の育成と環境整備 |
| (2) | 実現したい成果 | 安全管理体制の強化 |
| | 取組内容 | 1、全ての災害へ出動するための指揮隊運用体制の構築 2、各種災害における活動要領等の検証と見直し 3、車両、資機材の適切な運用と維持管理 |
| (3) | 実現したい成果 | 災害に強いまちづくり |
| | 取組内容 | 1、地域防災の要である消防団員増加に向けた取り組みの検証 2、各種災害による被害軽減(防火対象物の消防用設備等に関する違反是正、住宅用火災警報器の設置率向上と維持管理、特定地域警防計画に基づく訓練、消防団との連携訓練、幼少期の防災教育強化等) 3、高機能指令センター更新に向けた計画の策定 |

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

1. 消防力向上のための人材育成
 - ・消防学校、消防大学校及び救急救命東京研修所等で行われている各種研修は順調に行われており、職員個々の知識、技術の向上が進んでいる。
 - ・上期においてはハラスメント等不祥事は発生しておらず、下期も継続していきたい。
 - ・消防業務における職員からの提言の具現化については、一部業務に取り入れ行われているが消防本部全体として提言し易い環境整備を図っていきます。
2. 安全管理体制の強化
 - ・上期において、訓練や業務中に3件の公務災害が発生している。原因については安全管理体制の不備や職員個々の慣れからの不注意等で起きており、更なる安全管理の徹底と教育に努めていきます。
3. 災害に強いまちづくり
 - ・消防団で例年行われている訓練大会等が昨年度に引き続き今年度も中止となり、団員の技術維持やモチベーションについて危惧されている中、各支団が創意工夫をしながら訓練等を行い、技術やモチベーションの維持に努めている。今後も消防本部として全面的に協力していきます。
 - ・防火対象物の違反是正については、着実に改善が進んでおり今後も丁寧な対応と理解を得ながら進めていきたい。
 - ・住宅用火災警報器の設置推進については、コロナ禍で感染防止の観点から対面による調査や指導が難しい中で設置率は少しずつでも上がっており粘り強く進めていきたい。
 - ・防災教育については、小中学校で今年度より取り入れられたタブレットを使った応急手当普及ビデオを作成し、今後教育委員会の協力を得ながら応急手当の普及に努めていきたい。
 - ・高機能指令センター更新については、消防本部内の更新方針を策定し今後関係部署との協議検討を行っていきます。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

1. 消防力向上のための人材育成
 - ・ハラスメント等不祥事防止に向け、全消防職員対象のハラスメント講習会の実施。
 - ・例年行われている消防職員意見発表会にて提言される意見の実現に向けた応援体制の強化。
2. 安全管理体制の強化
 - ・安全衛生委員会における公務災害発生原因の検討協議及び更なる安全管理の徹底と教育。
3. 災害に強いまちづくり
 - ・地域防災の要である消防団各支団との各種訓練の実施と協力体制の強化。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

1. 消防力向上のための人材育成
 - ・日頃から飲酒運転等について注意喚起をしていた中で、令和3年11月21日、酒気帯び運転による消防職員の逮捕事案が発生したことは、市民の信頼を裏切るものであり、市民の安全安心を守る消防職員としてあってはならないこととお詫びいたします。今後は、職員に対する教育指導の徹底と再発防止に向け取り組んで参ります。
2. 安全管理体制の強化
 - ・公務災害については、災害現場活動では発生しておりませんが、通常業務や訓練中に発生しており、職員個々の不注意や安全管理体制の不備から発生しており、事故原因の検証と安全教育の更なる徹底を図り、公務災害撲滅に向けて努めていきます。
3. 災害に強いまちづくり
 - ・コロナ禍の中で、消防団の訓練大会等が中止になる中、消防署、各分署と協議し、また、創意工夫をしながら消防団員の方々との訓練を行うことで協力体制の強化が図られた。
4. 次年度に向けた課題
 - ・職員の不祥事により失墜した市民の信頼回復のため、何事にも真摯に取り組み1歩1歩確実に信頼回復のため消防本部が一丸となって努めて参ります。